

夢に向かって

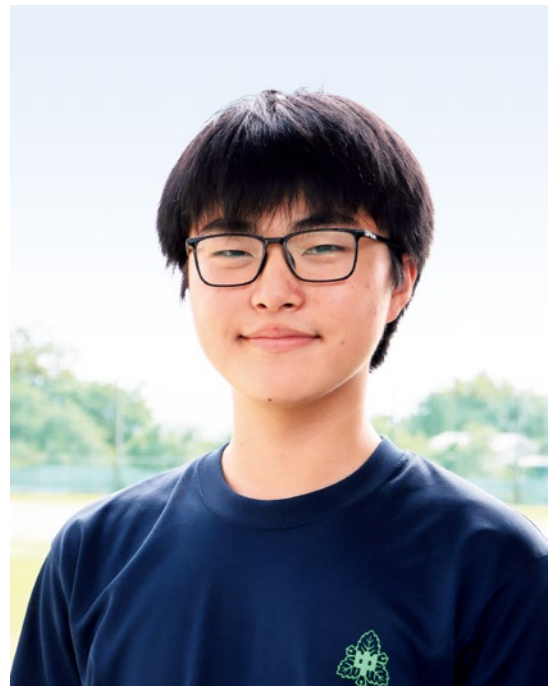
自分の可能性を信じて——

佐藤 ^{ゆうま}優真 さん (県北中3年)

私の将来の夢は、まだ決まっていません。いろいろと考えてみたことはありましたが、自分に何が合っているのか、見つけているところです。今は部活動に熱中しているので、将来のことを考えることができないのかもしれませんが。

中学校からバレーボールを始めたのですが、とても楽しくて集中して部活動に打ち込んでいます。また、バレーボール部のキャプテンを務めていて、部員のおかげで県大会にも出場することができました。部活以外のことは後回しにして、がむしゃらに進んできたように思います。

今後は、勉強にも集中して取り組んで、高校に進学しても大好きなバレーボールを続けていきたいと思っています。また、勉強だけでなく、今やるべきことを集中してやれるようになりたいと思うし、どんな職業に就いたとしても、仕事もプライベートも自分がやっていることを楽しめるような大人になりたいです。



バレーボール部でキャプテンを務める佐藤優真さん。部活に懸ける熱い思いを語ってくれました。将来の夢をしっかりと見つけ、実現に向けて突き進む姿が想像できました。

町長コラム



ま 真 ころむ

【第14回】

あきらめない夏

夏の一日。まず、大木戸むらづくりの会が手作りで行う「七夕まつり」を訪ねる。会場のあつかし歴史館と前庭を見て、子ども、いっぱいだねと言うと、大木戸から出た人たちが子どもや孫たちを連れて来てくれるのだと阿部初男さん。かき氷や焼きそば、手工芸品の屋台、館内のプラネタリウムで、大人も子どもも楽しんでる。

同じ日の夜。道の駅。商工会青年部が核になって行う「希望の光プロジェクト」。新型コロナウイルスで苦しんでる全ての人たちを励ましたいと遠藤和則さん。企画、資金調達、実施までを担う。ごめん、行政は補助金を一切出してない。町内3か所同時、夜空に花が咲く。その光の花を見上げる顔はみんな素敵。

次の週。徳江北部コミュニティセンター。徳江北部振興会が、宝くじの助成を受けて新調した盆踊り用品のお披露目会。新型コロナウイルス前は観音様の境内で賑やかに行ってた盆踊り。今は中止してるけど来年こそはと本多洋志さん。その思いが、大型鉄板台やかき氷機、テントに込められてる。

どの取り組みも今を認めながら、次を考え、前を向いてる。すごいな、みんな。

P.S. あ、焼きそば、ゴチ。超うまくて、びっくり。さては奥さんにしごかれてるな。



引地 真